

1 言語は人間のあいだにおいて意思を通じあうための大切な道具であり、われわれの文化は言語・文字によって集積されるものである。したがって、言語の内包が用いる人によって異なっているのは完全にその役目を果たすことができない。数学の如きはその用語の定義がきわめて厳重であるが、他の科学においてもそれぞれ標準用語の設定に努力が払われている。しかるに家政学においては、用語の問題にあまり大きな関心が向けられているとはいえない現状である。そこでこの問題に基本的な示唆を与えるのが、私の目的とするところである。

2 現在用いられている家政学用語をとりあげ、現代の国語およびその表記法の原則にてらし、また家政学の専門書を参照して、標準用語設定の基準と、その適用例をあげる。(将来は家政学会内に家政用語研究委員会を設けて標準家政学用語集を発行されることを希望する。)

3 家と家庭と家政、食物と食品、料理と調理、衣服と被服、家政と家庭管理と家庭経営、保育と育児等まぎらわしい語について一応の定義を与えてみた。また洋裁用語は英語、仏語、職人の用いたこれらのナマリ等もとも混乱しているので、これらに一応の標準的な表記法を与えた。また料理・食品等の用語についても若干の見解を与えた。